

2009年度経営方針と2009年度中間期実績

株式会社 三井住友フィナンシャルグループ

2009年11月13日

09年度中間期業績の概要及び戦略施策の進捗

09年度のSMFG連結中間純利益は、SMBCの業績が好調に推移していること等から、業績予想比+335億円の1,235億円となりました。

また、本年7月に本邦金融機関最大の普通株増資を完了、資本の質・量の両面における拡充を進めたほか、10月1日付で日興コーディアル証券をSMBCの完全子会社とし、成長事業領域の強化を進めました。

「経費」「クレジットコスト」「リスクアセット」のコントロール

SMBC単体

業務純益*

業績予想比 +276億円

業務粗利益 業績予想比 +193億円

- ✓ 好調な国債等債券損益
- ✓ 貸出金利鞘の改善に伴う国際業務部門の資金利益の増加 等

経費 経費率は47.5%に

- ✓ 業務推進経費、システム・施設投資の抑制等

クレジットコスト

業績予想比 △731億円減少

- ✓ 取引先の状況に応じたきめ細かな対応等

SMFG連結

中間純利益

SMBCの増益を主因に、業績予想比 +335億円

グローバルプレーヤーに相応しい財務体質の実現

- 発行価額総額8,610億円の普通株増資を実施
- 優先出資証券を発行(08年2月以降累計約1.6兆円)
 - ✓ 約10年前発行の0.8兆円のリファイナンスを完了

成長事業領域の強化

- オリックス・クレジットの連結子会社化 09年7月
- バンク・セントラル・アジア(インドネシア)との業務提携 09年7月
- ベトナムエグジムバンクとの技術支援契約締結 09年8月
- 平準払保険等の国内全支店店頭での取扱開始 09年8月
- SMBCが日興コーディアル証券を完全子会社化、総合証券会社として業務開始 09年10月

等

(参考1) 2009年度中間期業績の概要

P/L

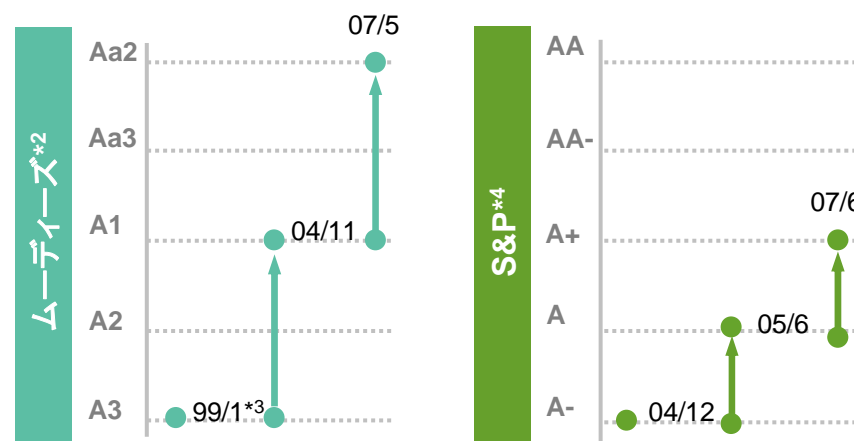
| | | 09年度 中間期 | 業績 予想比 |
|------------|--------|-------------|-----------|
| (億円) | | | |
| SMBC 単体 | 業務粗利益 | 7,193 | + 193 |
| | 経費 | ▲ 3,417 | △ 83 |
| | <経费率> | 47.5% | △ 2.5% |
| | 業務純益*1 | 3,776 | + 276 |
| | 与信関係費用 | ▲ 1,569 | △ 731 |
| | 中間純利益 | 1,126 | + 426 |
| SMFG 連結 | 中間純利益 | 1,235 | + 335 |

自己資本関連(速報値)

| | | 09/9末 | 09/3末比 |
|------------|----------|--------|---------|
| SMFG 連結 | 自己資本比率 | 13.13% | + 1.66% |
| | Tier I比率 | 9.55% | + 1.33% |

参考

格付(三井住友銀行)



(参考2)2009年度 経営方針と戦略施策

「基本原則に則った業務運営の徹底により、守りを固めつつ、着実な成長を目指す」

「経費」「クレジットコスト」「リスクアセット」の3つのコントロールを意識した業務運営を徹底するとともに、中長期的な成長の実現に向けた「グローバルプレーヤーに相応しい財務体質の実現」と「成長事業領域の強化」に取り組んでまいります。

「経費」「クレジットコスト」「リスクアセット」のコントロール

経費

- 成長事業領域への傾斜配分
- 事業の効率性向上

経費率 (SMBC単体) を
40%台にコントロール

クレジットコスト

- グローバルベースの与信管理機能の強化
- リスク管理態勢の高度化

リスクアセット

- お客さまへの円滑な資金供給
- より適切かつ積極的な金融仲介機能の発揮
- リスクに見合ったリターンの確保

グローバルプレーヤーに相応しい財務体質の実現

SMFG連結Tier I比率8%程度を継続的に維持

成長事業領域の強化

「Follow the Basics」のキーワードの下、
基本原則に則った業務運営を継続的に強化

法人向けソリューション ビジネス/ 投資銀行・信託業務

ホールセール/ リテール証券

個人向け 金融コンサルティング

支払・決済・ コンシューマー ファイナンス

グローバルマーケット における特定分野

- 中小企業のお客さまの資金調達ニーズへの対応
- お客さまの経営課題に対して最適な解決策を提供

日興コーディアル証券とともに、
新たな「複合金融」
ビジネスの創造を目指す

- 商品ラインアップの一層の拡充
 - コンサルタントのスキル向上
- 「トータルコンサルティング」
の実現を目指す

- 三井住友カード・セディナの2社体制によるシナジー発揮

「本邦ナンバーワンの
クレジットカード事業体」の実現

- オリックス・クレジットの共同事業化
- 「三井住友銀行(中国)有限公司」設立
- 英国バークレイズ・ピーエルシーとの業務協働推進
(ウェルスマネジメント分野、南アフリカ等)



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い、予想対比変化する可能性があることにご留意ください。